

1 単元 Lesson6 What do you want? アルファベットをさがそう

2 目標

- 欲しいものを尋ねたり答えたりする活動を通して、友だちと積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- アルファベットの大文字の読み方や、欲しいものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。
(外国語への慣れ親しみ)
- 身の回りにアルファベットの大文字で表記されているものがあることに気付く。(言語や文化に関する気付き)

3 単元(題材)について

本単元は、アルファベットの大文字を読んだり、“What do you want?” や “I want ~.” の表現を使って、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成することをねらいとしている。児童は、この単元で初めて、アルファベットの音声や文字の形、順序を学習する。新しい文字に触れる学習は、期待感も高いが初めから苦手意識をもつ児童もいると思われるので、ゲームやクイズを取り入れながら、誰もが楽しくアルファベットに親しめるようにしたい。

(平成**年**月**日実施 第5学年*組 **人)

1	アルファベットの大文字について
(1)	正しい順序で言えますか。 ・全部言える(10人) ・だいたい言える(16人) ・あまり言えない(4人) ・全く言えない(0人)
(2)	聞こえてくるアルファベットを、□から選びましょう。(全5問) ・5問正解(6人) ・4問正解(16人) ・3問正解(6人) ・2問正解(1人) ・1問正解(1人)
2	コミュニケーション活動では、友達に進んで話しかけようとしていますか。 ・よくしている(11人) ・している(14人) ・あまりしていない(4人) ・していない(1人)

多くの児童は、外国語活動の時間が楽しいと感じており、男女問わず誰とでもコミュニケーション活動を行うことができる。アルファベットの大文字については、順序は分かるが、音と文字を一致させることができない児童が多いこと、BとV、MとNの違いが分からないという児童が多いということが分かった。また、進んで友達に話しかけることができない児童が5人おり、これらの児童は外国語活動の授業が楽しくないと回答した児童でもある。これらの児童は、その理由として、言い方が分からないことを挙げた。

そこで本単元では、カルタや線つなぎ、キーワードゲームなど、誰もがアルファベットに楽しく触れられるような活動を取り入れ、十分にアルファベットに慣れ親ませ、自信をもってコミュニケーション活動に取り組めるようにする。また、活動の中でBとVやMとNの発音の違いについても触れたい。本時では、ミッシングゲームやダウトゲームを行い、アルファベットに十分に慣れ親しめるようにする。そして、“What do you want?” “~, please.” の表現を使い、友達との会話を繰り返しながら、自分の名前前のアルファベットシールを探す活動を取り入れる。これらの活動を通して、児童にコミュニケーションを図る楽しさを実感させ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てたい。

4 指導計画と評価計画(4時間扱い)(本時は第2時)

時	本時の目標	学習活動・内容	評価の観点			方法	評価規準
			関	慣	気		おおむね達成
1	身の回りの様々なところにアルファベットの大文字が使われていることに気付く。	・歌、チャンツ ・Let's listen. ・大文字探し・ビンゴ		○	◎	教科書 振り返り カード	身の回りの様々なところにアルファベットの大文字が使われていることに気付いている。
②	アルファベットの大文字とその読み方を一致させ、What do you want? の表現に慣れ親しむ。	・歌、チャンツ ・ミッシングゲーム ・ダウトゲーム ・シール集めゲーム	○	◎		行動観察 振り返り カード	アルファベットの大文字とその読み方を一致させ、What do you want? の表現に慣れ親しんでいる。
3	進んでアルファベットの大文字を読もうとしたり、What do you want? の表現を使おうとする。	・歌、チャンツ ・カルタゲーム ・線つなぎ ・カード集めゲーム	◎	○		行動観察 振り返り カード	進んでアルファベットの大文字を読もうとしたり、What do you want? の表現を使おうとしている。
4	欲しい物を尋ねたり答えたりする活動を通して、積極的にコミュニケーションを図ろうとする。	・歌、チャンツ ・インタビュービンゴ ・めざせ100円買い物ゲーム	◎	○		行動観察 振り返り カード	欲しい物を尋ねたり答えたりする活動を通して、積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。

5 本時の学習

(1) 目標

アルファベットの大文字とその読み方を一致させ、What do you want? の表現に慣れ親しむ。

(2) 道徳教育との関連

2-(3) 互いに信頼し、学び合って友情を深め、男女仲良く協力し助け合う。

(3) 準備・資料

教科書、振り返りカード、アルファベットカード、アルファベット丸シール、パソコン、テレビ

(4) 展開

☆は、努力を要する児童への手だて ◎は、道徳教育との関連

学習活動・内容	指導と評価	
	J T E	A L T
<p>1 あいさつをする。 Hello. How are you?</p> <p>2 ウォームアップをする。 ・曜日と月の歌を元気に歌う。</p> <p>3 本時の学習課題を確かめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">友だちに欲しいものをたずねてみよう。</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・I'm fine.の表現にとらわれず、自分の気持ちをそれぞれ表現してよいことを伝える。 ・ジェスチャーを入れて楽しく歌うように助言する。 ・児童と一緒に楽しく歌う。 ・本時のめあて、活動の流れを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・元気にあいさつし、クラスの雰囲気明るく盛り上げる。 ・表情豊かに自分の感情を表現する。 ・児童の様子を見ながら手拍子などで雰囲気を盛り上げる。
<p>4 本時の活動を楽しむ。</p> <p>(1) チャンツをする。 ・教科書25ページのチャンツをする。</p> <p>(2) ミッシングゲームをする。 ・黒板のアルファベットカードから隠されたアルファベットが何かを当てる。</p> <p>(3) ダウトゲームをする。 ・じゃんけんで順番を決め、勝った人からAから順にアルファベットカードを裏返して出していく、最初にカードがなくなった人が勝ち。</p> <p>(4) インタビューゲームをする。 ・モデル会話を見て活動のイメージをもつ。 ・2つのグループに分かれ、自分の名前アルファベットシールを持っているかどうかを尋ねながら集めて、教科書の表紙に貼る。</p> <div style="border: 2px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>児童A : What do you want? 児童B : _____, please. 児童A : O.K. Here you are./ Sorry, I don't have _____</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教科書を操作し、チャンツをスタートさせる。 ・手拍子などで雰囲気を盛り上げながら児童と一緒に発音する。 ・ルールの確認をさせる。 ・カードを選ばせる時に、What do you want?と児童に尋ね、自然に表現に慣れ親しませるようにしたい。 ・アルファベットカードをグループで2セット用意させる。 ・ゲームの仕方を確認させる。 ・言い方が分からず、困っている児童を支援する。 ◎ アルファベットの大文字を読んでいる。(行動観察) ・ゲームの仕方とコミュニケーションのポイントを確認させる。 ☆ 戸惑っている児童には、表現にこだわらず単語で表現してもよいことを助言する。 ◎ 協力し合い、誰とでも分け隔てなくコミュニケーションを図れるようにする。 ◎ What do you want? _____, please.の表現を使っている。(行動観察、振り返りカード) 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童と一緒に楽しくチャンツをする。 ・元気にリズムよく発音している児童を称賛する。 ・児童が選んだアルファベットカードを可動式黒板に貼る。 ・カードを何枚か選び、ホワイトボードの裏に貼る。 ・児童の問いに対し、Yes./No.で答える。 ・グループに入り、児童と一緒に活動する。 ・表情豊かにモデル会話を行い、児童に心地よいコミュニケーションの図り方を意識させる。 ・児童と一緒に活動する。 ・積極的に発話したり、ジェスチャーや表情をつけたりしている児童を称賛する。 ・児童の活動の様子を観察し、言い方が分からない児童や戸惑っている児童を支援する。
<p>5 本時の学習を振り返る。 ・本時の学習を振り返り、感想をカードに書いて、発表する。 ・友だちの発表を聞く。 ・次時の学習内容を知る。</p> <p>6 あいさつをする。 Good bye. See you next time.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・めあてについて、がんばったことや分かったことを振り返るよう声をかける。 ・新しい発見や友だちとのコミュニケーションについて書いている児童に発表させ、よい点を称賛する。 ・児童に称賛の言葉をかけながら元気にあいさつする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・次時の意欲付けになるように、具体的に児童のがんばった点を称賛する。 ・次時は、アルファベットの大文字を実際書いてみることを告げる。 ・児童とハイタッチをして別れる。